

扱い	テレビ・ラジオ・新聞	制限なし
解禁	なし	

【記者発表資料】

平成23年11月21日

雲仙復興事務所 技術セミナー（第7回）を開催します。

- <○ 新技術活用と加点制度 >  
 <○ 災害ゼロをめざしてリスクアセスメントの実施 >

国土交通省では、公共工事に関する優れた技術は、良質な社会資本整備の推進に寄与するとして新技術を積極的に活用し「総合的なコスト構造改善」をめざしており、総合評価落札方式の中にもその位置づけを明確にしています。

又、労働災害の防止のためには、事業者による法令遵守はもちろん、労使双方の災害防止のための努力や、発注者による安全衛生への配慮の促進が求められ、発注者と受注者からなる「工事安全対策連絡会」を設置し活動を実施しています。今回、実践的に長崎県内の工事現場をよくパトロールし経験豊富な安全のプロを招待し、上記、「新技術」と「工事の安全確保」について説明します。

【技術セミナー開催日時・場所】

日 時：平成23年12月1日（木）13時20分～15時30分

場 所：雲仙復興事務所 3F会議室 島原市南下川尻町7-4

講話者：新技術活用と加点制度< 建設専門官 児玉 幸三 氏 >

災害ゼロをめざしてリスクアセスメントの実施

<建設業労働災害防止協会 指導員 末弘 義守 氏 >

【セミナーのポイント】

[新技術活用と加点制度]：なぜ新技術を使うのか・雲仙復興事務所と新技術・加点制度・新技術の活用効果等

[災害ゼロをめざしてリスクアセスメントの実施]：リスクアセスメントと危険予知活動の違いについて・後追いの安全管理から先取りの安全管理・4人の職務等

【その他】：現在、継続学習制度（CPDS）等の学習プログラムとして認定を申請しています。

発表記者クラブ  
 ・島原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 雲仙復興事務所

(0957) 64-4171 (代表)

技 術 副 所 長 田中 育穂 (内204)

建設専門官 児玉 幸三 (内401)

ホームページアドレス：<http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>